



総務省

五條市の一部を放送区域とするコミュニティ放送局「エフエム五條」に免許を交付

近畿総合通信局は、社会福祉法人祥水学園（理事長 塩崎 万規子氏）から免許申請のあったコミュニティ放送局（エフエム五條）に対し、平成29年6月30日に免許状を交付しました。コミュニティ放送局としては奈良県内で3局目となり、近畿管内では38局目となります。

なお、エフエム五條は、7月8日に放送を開始しています。



←
右は
塩崎理事長
左は
土屋放送部長



～各地で防災・災害支援活動を実施～

兵庫県芦屋市の防災総合訓練で 災害支援機器を展示

近畿総合通信局は、7月2日、兵庫県芦屋市で実施された「平成29年度芦屋市防災総合訓練」に参加しました。

訓練では、当局が保有する災害対策用移動電源車及び通信機器などの災害支援機器を展示し、使用方法や有用性などを参加者に説明しました。



支援機器展示の様子

九州北部豪雨で被害を受けた 福岡県東峰村に災害支援機器を貸与

近畿総合通信局は、7月5日からの局地的豪雨により大きな被害を受けた福岡県東峰村に、7月7日に当局職員を派遣し、当局が保有する衛星携帯電話等の通信機器の貸与支援を実施しました。



現地で機器調整を行う当局職員（左）



総務省

～子どもたちがネット社会をよりよく暮らすために大人ができること～

青少年の安心・安全なインターネット利用に関するシンポジウムを和歌山市で開催

近畿総合通信局は、7月9日（日）、和歌山県と共同で、子どもたちのネット事情について理解を深め、インターネットの効果的な普及・啓発活動について考える「青少年の安心・安全なインターネット利用に関するシンポジウム」を和歌山市で開催し、生徒、保護者及び学校関係者等約100名が出席しました。

当日は、基調講演として、和歌山大学教職大学院の豊田充崇（とよだ みちたか）教授から、ネット社会をよりよく安心して暮らすため、海外のネット教育の事例や、実際にあったネットでのいじめをもとに考えられた斬新な教材を紹介していただきました。

続いての講演では、LINE株式会社の高橋誠（たかはしまこと）氏から、子どもも含め、広く使われるようになったコミュニケーションアプリ「LINE」の紹介と、人によって言葉の感じ方が違うということカードを用いて楽しく学びました。

その後は豊田教授のコーディネートによるトークセッションに移り、パネリストとして、兵庫県立大学の竹内和雄（たけうち かずお）准教授、保護者、和歌山県内の小中学生2名が登場し、竹内准教授のお話を交えて、生徒たちが、日頃から感じている子ども目線の意見を述べ、それをもとに、保護者や竹内准教授と議論を交わしました。

最後に会場から、生徒の担任の先生がトークセッション全体の感想を述べ、大いに盛り上がりました。



講演する豊田氏



シンポジウムの様子

近畿総合通信局では、今後も関係機関と連携し、インターネット・リテラシーの向上に資する活動を進めて参ります。

スマートフォン時代に対応した青少年の
インターネット利用に関する連絡会
(スマホ連絡会(近畿))



<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/sumaho-kinki/index.html>



平成29年度における当局の重点施策及び情報通信の推進に関する支援状況をご覧いただけます。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/cal/c/kinki2017.html>



編集・発行

近畿総合通信局
総務部総務課
企画広報室

〒540 -8795

大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎第1号館

TEL : 06(6942)8508

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/>